

令和5年度指定管理者モニタリング評価調書

1 施設状況・事業収支												
施設名称		長泉町文化センター ベルフォーレ										
所管課：部門名		課名（所属名）			チーム・グループ名		担当					
教育委員会		生涯学習課			生涯学習チーム		齊藤 優介					
指定管理者名					代表者							
株式会社SBSプロモーション・株式会社エスピーエスたくみ・株式会社NTTファシリティーズ東海支店					株式会社SBSプロモーション 代表取締役 永田 龍彦							
指定期間				(年)		料金制度適用						
令和5年4月1日～令和8年3月31日				3		あり						
法令根拠等		地方自治法第244条 長泉町文化センターの設置及び管理に関する条例										
施設設置目的		長泉町の芸術・文化発信の拠点として、音楽・演劇・講演会など優れた芸術・文化に気軽に接し、鑑賞できる場を提供するとともに、文化団体や生涯学習活動の成果発表など、幅広く利用できる施設として、町内の芸術・文化の向上に努めるために、長泉町文化センターを設置する。										
施設概要		設置主体：長泉町 敷地面積：11,345.53㎡ 建築面積：3,077.02㎡ 延床面積：5,395.73㎡ ホール、楽屋、リハーサル室、イベントホール、第1～3会議室、第1～2工芸室、調理実習室、和室、茶室										
施設の主な実施事業		(1)文化センターの利用の許可及び利用に係る料金の収受に関する業務。(2)文化振興に関する事業の企画及び実施に関する業務。(3)施設及び付属設備の維持管理に関する業務。(4)上記に掲げる以外の、文化センターの管理に関し、委託者が必要と認める業務。										
施設利用状況	利用区分		利用可能日数		利用実績		前年利用実績		対前年比		評価	
	ホール		301 日		182 日		174		104.6 %			
	イベントホール		343 日		274 日		272		100.7 %			
	第1会議室		348 日		174 日		192		90.6 %			
	第2会議室		348 日		282 日		255		110.6 %			
	第3会議室		351 日		230 日		266		86.5 %			
	第1工芸室		348 日		296 日		262		113.0 %			
	第2工芸室		348 日		255 日		252		101.2 %			
	調理実習室		348 日		131 日		138		94.9 %			
	和室		348 日		262 日		254		103.1 %			
	リハーサル室		411 日		332 日		324		102.5 %			
(特記事項)		411 日		28 日		26		107.7 %		3		
事業収支 (単位：円)	収入	予算額			実績額			評価				
		項目		金額	項目		金額					
		委託料		111,000,000	委託料		122,220,000					
		利用料		14,000,000	利用料		15,933,640					
		事業費収入		15,000,000	事業費収入		2,601,198					
		その他収入		700,000	その他収入		793,245					
		計		140,700,000	計		141,548,083					
	支出	人件費		28,415,000	人件費		28,314,812	3				
		事務費		19,003,000	事務費		20,277,653					
		事業費		25,000,000	事業費		12,392,054					
		管理費		68,282,000	管理費		79,575,512					
		計		140,700,000	計		140,560,031					
	収支	計		0	計		988,052					
職員配置	協定時の配置予定				配置実績				評価			
	専門性の高いスタッフで運営。 契約社員には長泉町民をできる限り雇用。 館長1名、チーフ（営業企画担当）1名 営業企画係3名（イベントサポート兼務） 施設管理責任者・施設保守担当3名 チーフ（舞台担当）1名、舞台係1名				館長1名、チーフ（営業企画担当）1名、 営業企画係3名、 施設管理責任者・施設保守担当3名、 チーフ（舞台担当）1名、舞台係1名 ※社員10名のうち町民雇用実績5名				3			
	施設管理運営に必要な人員が適切に配置されていたか				適切に計画どおり人員配置ができており、町民の雇用については、5名となり50%。							

2 事業の実施状況			
区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
町指定事業	長泉町文化センターの設置及び管理に関する条例第5条	・該当なし	
	(1)文化センターの利用の許可及び利用に係る料金の収受に関する業務		
	(2)文化振興に関する事業の企画及び実施に関する業務		
	(3)施設及び附属設備の維持管理に関する業務		
	(4)前3号に掲げるもののほか、文化センターの管理に関し、教育委員会が必要と認める業務		
自主事業		・光熱水費の増額に対する補正に伴う指定管理料の増額が確定するまで、買取事業の実施に向けた業務を中断していたため、令和4年度時点の計画と比較すると、自主事業の収入額および支出額が著しく低く、実施事業数も減少している。	2
	ロボットサッカープログラミング、ハピネスタイム、バリ管弦楽団プラス・クインテット、春風亭一之輔、ベルフォーレ映画まつりvol.36、ペーゼンを弾こう！5DAYS、ベルフォーレ夢アートフェス、避難訓練コンサート、おとのまほう・ことばのまほう 親子で楽しむコンサート、ChatGPT体験講座（計2回）、第二回A太郎・羽光落語会 in 長泉、2024ベルフォーレ中学生吹奏楽フェスティバル、2024北中学校吹奏楽部演奏会、2024長泉中学校吹奏楽部演奏会、ベルフォーレボイスフェス		

3 指定管理者業務の実施状況の確認（管理運営全般）		
確認項目	実施状況	評価
利用者の公平性の確保	利用者の平等性 ・チケットの販売等、公にされた期間での販売 ・一般の施設予約について、規定どおりの予約を実施	3

4 指定管理者業務の実施状況の確認（個別業務）			
区分		実施内容	評価
施設の維持管理	協定・仕様等の確認	①電気、空調、給排水等設備管理、②施設・設備保守点検、③修繕、④関係法令に基づく法定点検等の実施、⑤植栽管理、⑥公衆電話の維持管理、⑦駐車場の管理、⑧保安警備業務、⑨損害賠償保険への加入、⑩維持管理用消耗品の購入、⑪光熱水費、通信運搬費の支払い	
	実施計画検証	電気、空調、給排水等設備管理	日常巡視点検、定期点検の実施。
		施設・設備保守点検	定期的に保守点検等を実施。指定管理者でエネルギー管理を実施。
		修繕	修繕計画に基づく修繕を実施。緊急修繕は即時対応。
		関係法令に基づく法定点検等の実施	法令に基づく回数や内容で実施。
		植栽管理	定期的な剪定・除草・消毒等を実施。随時対応も実施。
サービスの維持向上	協定・仕様等の確認	*利用者の意見を反映させる仕組みづくり（運営審議会のアドバイスを反映した運営、町民アドバイザー会議の実施、町民参加を高める） *ソフト面の具体的取組（相談サービス、料金・割引、利用者意見、利用時間・休館日、友の会） *ハード面の具体的取組（管理業務、子育て層向け、茶室、オンラインサービス、デジタルビジョン、チケット販売、キャッシュレス決済）	
	実施計画検証	イベントサポート室、友の会の設置継続	対面・電話・メールでのイベント相談受付を継続。友の会も同様に継続。
		戦略的な割引サービスの継続	平日割・初めて割等の割引サービスを継続。
		貸館利用者の広報支援	友の会会員メール・サイネージ・HPバナー等を活用し、広報サポートを充実させる。
		トリプルチェックによる問題の早期発見	トリプルチェック方式でトラブルを早期発見し、故障を未然に防止する。
		子育て層が利用しやすい会館づくり	託児サービスを継続。自主事業の際に、プレイルームを設置・開放。
		会議・セミナーとして利用しやすい環境整備	貸施設にWi-fiの導入を進める。オンライン配信イベントのサポートを実施。
		ベルフォーレビジョンの活用	デジタルビジョンを活用し、公演アーティストのムービーや町のプロモーション映像、お知らせ情報を流す。
	危険管理対策	協定・仕様等の確認	*施設設備に係る安全への取組（予防保全及び危機管理マニュアルの徹底） *災害や事故の防止への取組（AED講習を実施。防災訓練を2回実施。） *犯罪防止への取組（不審者・不審物への対応、保安業務） *緊急時の対応（マニュアルに基づいた迅速かつ確実な対応）
実施計画検証		施設設備に係る安全への取組	消防設備自主点検実施。危機管理マニュアル変更なし。
		災害や事故の防止への取組	AED講習を実施。防災訓練を2回実施。
		犯罪防止への取組	館内挨拶の声かけ運動を実施。
		緊急時の対応	緊急連絡系統図変更なし。
		危機管理マニュアル	危機管理マニュアルの徹底指導。
その他	協定・仕様等の確認	*個人情報及び情報公開に関する事項（長泉町個人情報保護条例、文化センター個人情報保護方針、長泉町情報公開条例） *環境に配慮した管理運営（長泉町環境基本計画）	
	実施計画検証	植栽管理	ISMS認証取得。マニュアルに基づく取扱い講習の継続。
		個人情報に関する事項	公平な運営を継続。貸館情報の透明化を実施。
		省エネルギーの取組	省エネ施策26項目チェック継続。エネルギー管理委員会を2回開催。
		〃	デマンド制御によるコスト削減を継続。
		広報活動に関する取組	静岡新聞・静岡放送など県内メディアへのリリースを実施。
	〃	ホームページの随時リニューアルを実施。SNSによる情報発信を実施。	

モニタリング評価調書

5 利用者評価				評価
区分		内容		
利用者評価	利用者アンケート	実施有	(1) アンケート調査 自主事業の開催時にアンケート調査を実施している。	3
		未実施		
		利用者からの評価・苦情・要望	(1) 良好とする評価	
	①オンライン予約に対応してくれて嬉しい。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項			
	主な要望		(対応)	
	①防音かつ踊りが可能な部屋が増えると嬉しい。 ②噴水・芝生エリアを綺麗に整備できないか。 ③地域の学生が関われる事業を企画してはいかがか。 ④ホール利用時に、舞台を映すホワイエのモニターが映らない。	①②大規模改修工事に向けて、物理的に可能かどうかを含めて検討している。 ③すでに学生吹奏楽部と連携している。夢アートフェスでは、未来人に運営ボランティアとして関わっていただいた。 ④業者に依頼し、翌日に対応済み。		

6 担当課評価				
総合評価	評価区分	評価	総合評価	評価理由
	施設利用状況	3	D	施設利用状況については、利用区分全体で100.5%であった。 自主事業については、クラシックや吹奏楽を中心に16回実施し、動員目標6,000人のところ6,742人（前年度比+789人）を動員した。 また、町内中学校吹奏楽部の支援体制を継続して強化した点や、新規事業として企画したペルフォーレフェスを実施した点も評価の対象となる。 しかし、事業費においては、物価高騰により管理費が増額となったとはいえ、予算執行率が著しく低く（収入額17.3%、支出額49.6%）、町の文化振興の拠点とする施設運営としては、満足度に欠けていた。残りの指定管理期間では、計画的かつ魅力ある事業の実施および施設運営を求める。 令和5年度は、指定管理協定期間3期1年目として2期目までの実績を踏まえつつ、アンケート等により運営を改善する努力が見られた。 総合評価は、期待値をやや下回っており「D」とする。
	事業収支	3		
	職員配置	3		
	事業実施	2		
	管理運営全般	3		
	施設の維持管理	3		
	サービス向上	3		
	危機管理対策	3		
	その他	3		
	利用者評価	3		
取り組みに対する指示事項及び改善案等		指定管理協定期間3期1年目が終了した。利用者や周辺住民への苦情対応は、丁寧である。 毎月の定例会において、詳細な話し合いが出来ており、JV（共同企業体）として三者（株式会社SBSプロモーション・株式会社エスピーエスタくみ・株式会社NTTファシリティーズ東海支店）の連携が密に取れている。		

【指定管理者自己評価】	
指定管理者自己評価	
(1) これまでの取り組みに対する評価	
Ⅰ 利用増加への取り組み	
*料金体系・割引サービスの維持 *無料会員組織の設置 *利便性向上のため座席選択ができるオンラインチケット購入システムの導入 *シニア層、子育て世代向けの自主事業の開催 *年2回の利用者意見交換会の実施（令和5年度は1回の実施） *法人向け需要の喚起 *イベント・セミナーでの地域団体との連携	
Ⅱ コスト削減に対する取り組み	
*電気使用量・・・利用状況に応じ空調省エネ対策を実施。コロナ禍を脱し施設利用も復調し、新しい生活様式として換気対策や夏場の外気温上昇のため空調を入れる頻度が増え、全体では前年度比7.1%上昇した。 *ガス使用量・・・電気使用量同様空調省エネ運転を実施。上記の同影響から全体では前年比15.1%上昇した。 *上水使用量・・・節水意識は継続。コロナ禍を脱し施設利用も復調していることから、全体では前年比11.5%%上昇した。 *井水使用量・・・節水意識は継続。コロナ禍を脱し施設利用も復調していることから、全体では前年比13.6%%上昇した。	
Ⅲ その他	
*町の政策に沿った子ども世代を意識した文化振興、地域共創をテーマにした、夏休み・春休みのフェス事業の実施。 *町の政策に沿った子育て世代応援オリジナルイベント、ハピネスタイムの実施。 *町民の防災意識向上のための避難訓練コンサートの実施。 *まちづくりに繋がるまちづくりワークショップの実施。 *町の施策に連動したブランドシンボルのP R協力。 *長泉中学校、北中学校吹奏楽部のコンクール上位入賞を目指す活動を応援すべく、自主事業（育成事業）として単独演奏会の開催を支援協力。定期公演として毎年継続していく。 *ロビーに大型ビジョンを設置し情報発信（会館情報以外にも町のP R動画を放映）。	
(2) 指定管理者業務実施上の課題	
*設備が古く部品生産停止のため修繕できず新規更新するケースが増え、従来の修繕予算でまかないきれないケースが増えてきており、大規模改修工事で一式更新する必要性を感じている。 *ウクライナ情勢、円安における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響が大きく年間の収支に影響が出てきている。特に光熱費の高騰は指定管理者の自助努力では賄いきれず補償を要する状況が続いている。補償が確定する時期も年末頃のため自主事業費、消耗品費、修繕費など年間事業計画も流動的に対応する必要がある。 *旧不二精機の駐車場を借用できなくなったことで大型催事の際に駐車場がパンクしてしまう。近隣に有料駐車場が無く、バスなどの公共交通機関も不便な状況があり案内に苦慮している。	
(3) 次年度以降の取り組み	
*電気、ガス、上水の使用について、引き続き省エネ対策を実施するが、新しい生活様式として換気を優先することも徹底。 *施設利用者の利便性を考慮した、料金体系や割引サービスの新しい企画を検討する。 *大規模改修工事を見据え、施設などハード面の投資よりも事業などソフト面の充実を図る。	